

感染症に伴う「登室停止」について

以下の疾患については、幼児期において特に感染しやすいので、日頃からその予防に万全を期していただくとともに、疑わしいときには早めに医師等に相談してください。

各々の疾患においては、病状により『登室停止』になることがありますので、ご注意ください。

登園の再開に際しましては、『登室許可証明書』の提出をお願いします。(登室許可証明書の用紙は一時的保育室にあります。)また、施設内で集団感染が予測される場合は、感染の拡大を防ぐためにご協力をお願いすることもありますのでご了承ください。

病名	主な症状	登室停止期間
インフルエンザ	発熱、頭痛、咽頭痛、咳、くしゃみ、鼻汁、全身倦怠、筋肉痛	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで
百日咳	コンコンと咳き込んだ後、ヒュという笛を吹くような音を立てて息を吸う。しつこい咳がでる。	特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
麻疹 (はしか)	発熱、咳、食欲不振、口腔粘膜・皮膚に発疹	解熱した後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発熱、耳下腺(耳たぶの下)が腫れる。	耳下腺、顎下腺、または舌下腺の膨張が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
風疹 (三日はしか)	発熱、全身に赤色の発疹、リンパ腺が腫れる。	発疹が消失するまで
水痘 (みずぼうそう)	発熱とともに顔・手足・軀幹に水疱を伴う発疹が出現する。かゆみ、疼痛	すべての発疹が痂皮化(かさぶた化)するまで
咽頭結膜熱 (プール熱)	発熱、咽頭痛、結膜の充血、食欲不振、咽頭発赤、涙が多くなる、眩しがる、目ヤニが増える。	主要症状が消失した後2日を経過するまで
新型コロナウイルス感染症	発熱、頭痛、咽頭痛、咳、くしゃみ、鼻汁、全身倦怠、筋肉痛、味覚症状	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで
結核	発熱、咳、疲れやすい、食欲不振、顔色が悪い、呼吸困難、胸痛、寝汗、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれん	感染のおそれがないと医師が認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	発熱、頭痛、嘔吐、症状が進行するとけいれんや意識障害も現れる	同上

病名	主な症状	登室停止期間
腸管出血性 大腸菌感染症	下痢(水様便)、腹痛、血便	感染のおそれがないと 医師が認めるまで
流行性角結膜炎 (はやり目)	まぶたの腫れ・異物感、結膜の充血、目ヤニ、発熱	同上
急性出血性結膜炎 (アポロ病)	まぶたの腫れ、結膜の充血、目ヤニ、発熱	同上
手足口病	発熱及び口腔・咽頭粘膜に痛みを伴う水疱、唾液がよく出る。手足末端・肘・膝及びでん部に水疱	同上
伝染性紅斑 (リンゴ病)	風邪様症状及び両頬・手足にレース・網状の紅斑	同上
溶連菌感染症	発熱、喉の発赤・腫れ・痛み、扁桃の腫脹・化膿、舌の腫れ、全身に鮮紅色の発疹・かさぶた	同上
ウイルス性肝炎 (A型)	発熱、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、下痢、嘔吐、上腹部痛、黄疸	同上
ヘルパンギーナ	突然の発熱、喉の痛み、喉に赤い発疹・水疱・潰瘍	同上
マイコプラズマ 感染症	発熱、乾いた咳が続く。	同上
流行性嘔吐下痢症	嘔吐、下痢、脱水症状、白い下痢便	同上
その他の伝染病 突発性発疹症 伝染性軟属種(水いぼ)、アタマジラミ等	各々、特徴的な症状	適切な治療処置がしてあれば登園が可能

